



GOURMET COFFEE MILL

GCM-56
グルメコーヒーマル

このたびは、デバイススタイル・コーヒーマイルをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は保証書とともに、大切に保管してください。

付属品をご確認ください

本機には下記の付属品が同梱されています。付属品を見落とさないようにご確認ください。

付属品

・クリアカップ(小)×1、 ・クリアカップ用密閉キャップ×1

ご注意

本機は日本国内専用です。交流100V以外のコンセントには接続しないでください。

本書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お取扱いや、お手入れに関するご不明な点や、修理に関するお問い合わせは下記のカスタマーサポートセンターにご相談ください。

《本製品に関するお問合せ・修理品の送付先》

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

email: customer.support@devicestyle.co.jp

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

営業時間: 平日午前9時～午後6時
(土日、祝日及び長期休暇を除きます。)

主な特徴

◆ 微粉を取り除いて、もっとおいしく

マイクロパウダーセパレート機能搭載のコーヒーマイル。

雑味のもととなる微粉末(マイクロパウダー)をコーヒを挽きながら取り除くことができる、マイクロパウダーセパレート機能搭載。

◆ 2種類のカップがセット。

マイクロパウダーセパレート用の丈夫なステンレスメッシュカップと、緑茶などが粉末にできるクリアカップ。

密閉キャップ付きなので、保存もできます。

マイクロパウダーセパレート機能

コーヒ豆の挽き加減にかかわらず挽いたときにできる微粉末はコーヒの味わいを損ねる原因となります。

本機のステンレスメッシュカップを使用すると、この微粉末をあらかじめ除去することができます。

ペーパーフィルターでも、また目が粗めのゴールドフィルターを使うときはさらに効果的です。

もくじ

はじめに	2	コーヒ豆を挽く	8
主な特徴	3	コーヒ豆を挽く時間の目安	8
マイクロパウダーセパレート機能	3	食材の粉末を作る	10
もくじ	3	お手入れ	11
安全上のご注意		故障かな?と思ったら	12
(必ずお読みください)	4	主な仕様	13
使用上のご注意	6	交換部品、消耗品について	14
各部のなまえ	7	保証とアフターサービス	15
使いかた	8	保証書	16

安全上のご注意(必ずお読みください)

製品を安全にご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。

製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

表示の意味



警告

この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることをあらわします。

図の中や下に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容をあらわします。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告



分解禁止

分解や修理改造をしない。

発火や、異常動作をして、破損や、けがの原因となることがあります。



禁止

交流100V以外のコンセントに接続しない。

他の電源に接続すると故障や、発火の原因になります。



禁止

幼児の手の届くところに置かない。子供だけで使わせない。けがや感電のおそれがあります。



禁止

電源コード、コンセント部を水につけたり、水をかけたりしない。

ショートや、感電、故障の原因となります。



守る

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。

差込が不完全だと、感電や、ショート、発火の原因となります。



禁止

濡れた手でプラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。



警告



禁止

落下した機器はそのまま使わないで、点検を依頼する。

そのまま使用すると発火や感電の原因となります。



禁止

電源コードを無理に曲げたり加熱したり、ステープルで止めたり、重いものを乗せたり、そのほか無理のかかることをしない。

ショートや、感電、故障の原因となります。



禁止

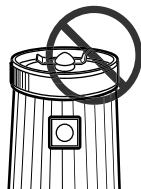
カッターベースだけを本体に取り付けけない

万スウィッチが入った場合、けがの原因となります。



プラグを
抜く

煙が出たり、異常なおいがしたり、異音が出るような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、修理をご依頼ください。



注意



プラグを
抜く

使わないときはプラグをコンセントから抜く。

けがや、劣化による感電、漏電による火災などの原因となります。



禁止

本体を水や洗剤などに浸さない。

故障の原因となります。



守る

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずプラグを持って抜く。

断線や、感電、ショート、発火の原因となります。



禁止

本書に記載された本来の目的以外に使わない。

故障の原因となります。



守る

お手入れは必ずプラグを抜いて行う。

感電の原因となります。



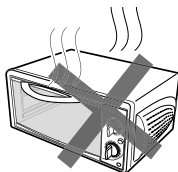
禁止

不安定な場所に置かない。

落下して、故障やけがの原因となります。

使用上のご注意

- クリアカップや本体を電子レンジやオーブンで加熱しないでください。破損、変形や、故障の原因となります。

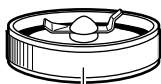


- 材料を入れずに、または極端に少ない材料で空回しをしないでください。

モーター軸やカッターが傷み、故障の原因となります。

- 普段のお手入れではカッターベースを水洗いしないでください。

水洗いすると内部に水が残リ、可動部に悪影響がでる恐れがあります。汚れがひどく、水洗いしたときは十分に乾燥させるようご注意ください。



カッターベース

- パッキンが浮いた状態で使用しないでください。

パッキンが切れて食材に混ざる恐れがあります。

パッキンが浮いたまま
使わない



- カップの中に箸やスプーンなど、調理材料以外のものを入れないでください。

故障の原因となります。

- 連続して使ったり、断続的に使う場合は、合計でも1分半以内にしてください。1分半を越えて使う場合には30分以上休ませてから使用してください。

モーターが過熱し、故障の原因となります。

(例)

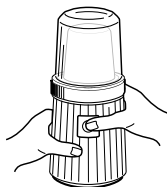
30秒 → 30秒 → 30秒



30分以上休ませる

- 使用するときは両手で押さえて使用してください。

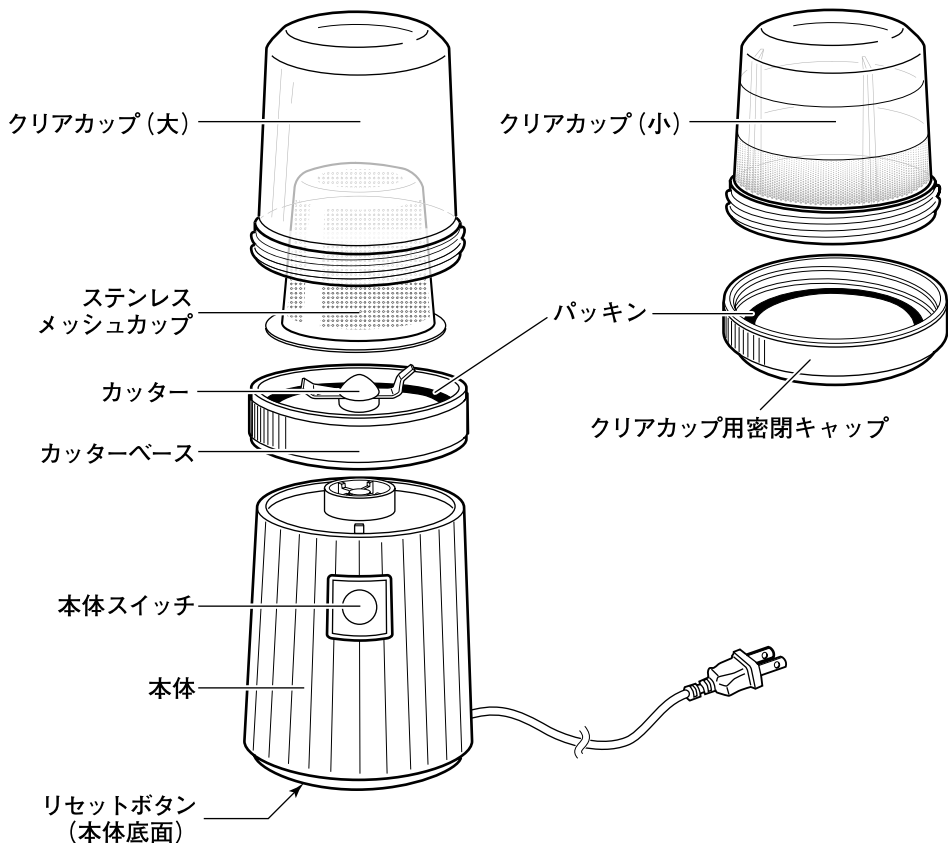
不安定な持ち方で使用すると、落下してけがや故障の原因となります。



※ クリアカップ(小)で固いものを挽いた場合、カップ内部に曇りがでることがあります。

固い食材を挽く場合は、クリアカップ(大)にステンレスメッシュカップをセットして使用することをお勧めします。

各部のなまえ



モーターが回らなくなったときは(本体リセットボタンについて)

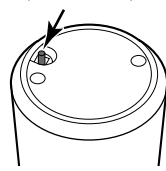
コーヒー豆を多く入れすぎたり、カッターにはさまったりして、モーターに強い負荷がかかると、モーターの損傷を防ぐため安全装置が働いて、モーターが動かなくなります。

このようなときは次の手順で回復することができます。

- (1) 電源プラグをコンセントから抜き、安全装置が働いた原因を取り除きます。(はさまった食材を取り除くなど)
- (2) 10秒ぐらいたってから本体底面のリセットボタンを押します。

リセットボタンを押すと機能が回復します。

リセットボタン
(本体底面)



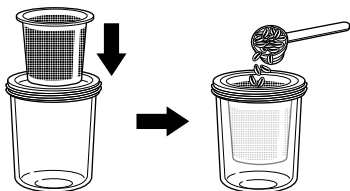


コーヒーを入れずに、または極端に少ない量で空回しをしないでください。

コーヒー豆を挽く

1

ステンレス
メッシュカップ

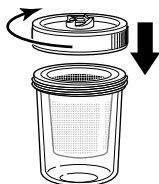


ステンレスメッシュカップをクリアカップ(大)に入れ、その中に分量のコーヒー豆を入れる。

- コーヒー豆の量は50g(1杯分が10gの計量スプーンをお使いの場合、スプーン約5杯分)を越えないようにしてください。

2

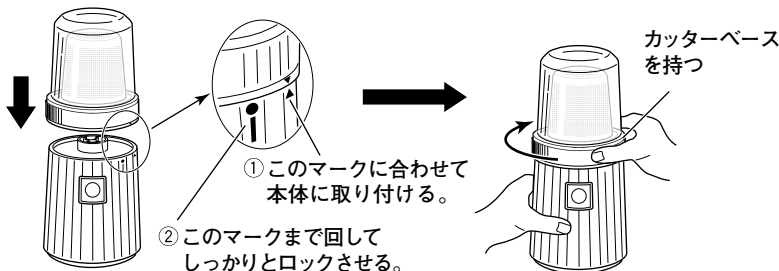
カッターベース



カッターベースをクリアカップにかぶせ、キチッと締める。

- 完全に締まっていないと、電源が入りません。

3



- ① カップを逆さまにして、本体のマークに合わせる。

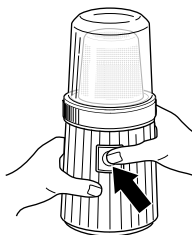
- ② 図の方向に回してしっかりとロックさせる。

- ロックさせるときは必ずカッターベースを持って回してください。
- ロックが不完全な場合、カッターベースとクリアカップが外れて、ケガや破損の恐れがあります。

コーヒー豆を挽く時間の目安

挽き方		粗挽き	中挽き	中細挽き
抽出方法		パーコレーター	サイホン、ネルドリップ、金属フィルター	ペーパードリップ
豆の量	30g	8秒	10秒	15秒
	50g	10秒	15秒	25秒

4

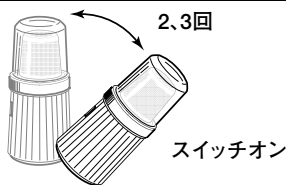


コンセントに電源プラグを挿し込み、本体スイッチを押す。

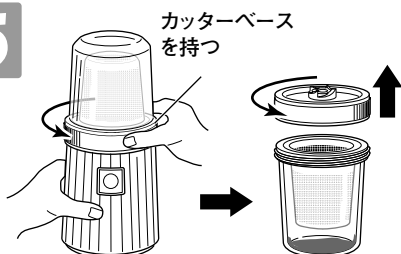
- 作動させる時間は、「コーヒーを挽く時間の目安」を参考にお好みに合わせて調整してください。
- 挽く豆が多めのときなど、スイッチを押しながら、軽く傾けながら振ると均一に仕上がります。

均一に仕上げるコツ

はじめに本体を45度ぐらい傾けてスイッチを入れ、ゆっくりと立てたり傾けたりを2、3回繰り返すと均一に仕上げることができます。



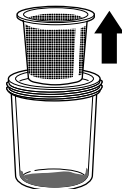
5



カッターベース部を持って、カップを本体から取り外し、カップの口を上に向け、カッターベースを取り外す。

- カップが下向きのままカッターベースを外すと中のコーヒーがこぼれ出します。
- カッターベースを外す前にカップを軽く振ると、微粉末が分離し易くなります。

6



メッシュカップを取り出し、中のコーヒーを使う。

続けて使う場合のご注意

続けて作動させる場合は合計で1分半を越えないようにしてください。
1分半以上にわたって使いたい場合は約30分以上間隔をおいてください。

30秒 → 30秒 → 30秒 → 30分以上休ませる



食材を入れずに、または極端に少ない量で空回しをしないでください。

食材の粉末を作る

コーヒー以外の食材の粉末を作ることができます。

- 食材は十分に乾燥させてから使用してください。
- 固い食材の粉末を作る場合は、クリアカップ(大)にステンレスメッシュカップをセットして使用することをお勧めします。

下の表の食材が加工できます。

食材	前加工
緑茶	良く乾燥させる。
炒り胡麻	良く乾燥させる。
干し椎茸	スライスして乾燥させたものを使用。
煮干し	良く乾燥させたものを5mm～1cmに砕く。

粉末の作りかた

1

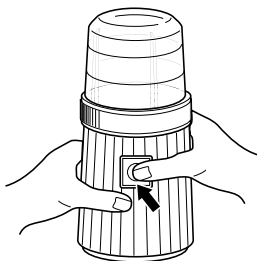
クリアカップ(小)に食材を入れる。



食材は下の線より少なく入れてください。

2

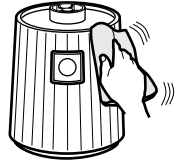
8ページ～9ページの **2**～**5** の手順で粉末を作ります。



お手入れ

本体のお手入れ

プラグをコンセントから抜き、柔らかい布で乾拭きするか、または食器用中性洗剤を薄めた水に浸して、良く絞った布で拭きます。中性洗剤を使用した場合は、水で浸した布で良く拭き取ってください。



ステンレスメッシュカップ、クリアカップ、クリアカップ用密閉キャップのお手入れ

通常の食器と同様に洗浄できます。(食器乾燥機は使わないでください。)

また、コーヒーの風味が損なわれる恐れがありますので、汚れのひどくないときは洗剤は使わずにぬるま湯で洗浄するようにしましょう。

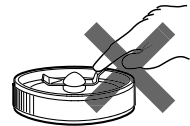


 ステンレスメッシュカップは薄い金属で作られています。清掃するときは金属の端でケガをしないようにご注意ください。

カッター、カッターベースのお手入れ

コーヒーカスを刷毛などでていねいに落とします。このときカッターに手を触れないように注意してください。

普段のお手入れではカッターベースを水洗いしないでください。(6ページ参照)



- 使いはじめしばらくは、ご使用後カッターベースの裏面に油分が付着する場合があります。食材に付着することはありませんが、油分は布などで拭き取ってください。

長年ご愛用のコーヒーミルの点検を！



愛情点検

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 本体が異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- こげくさいにおいがする。
- その他の異常がある。

使用中止

故障や、事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、または弊社カスタマーサポートセンターまで点検・修理をご相談ください。

故障かな?と思ったら

機器が動作しないなどの障害があるときは、まず下の表の原因を調べてください。それでも不都合なときは**デバイススタイル カスタマー サポートセンター**に直接ご連絡ください。

電話 **048-664-3477**

症状	原因
電源が入らない。	● 電源プラグがコンセントにキチッと差し込まれていない。 →しっかりと差し込んでください。 ● 安全装置が働いた。 →7ページを参照して、リセット操作をしてください。 ● カッターベースの取付が不完全。 →クリアカップとカッターベースがキチッと締まっていないとスイッチが入りません。(8ページ)
カッターが回らない、または途中で止まる。	● 食材が多すぎる。→食材を減らしてください。 ● 食材がカッターにはさまった。 →プラグを抜き、はさまった食材を取り除いてください。 ● 安全装置が働いた。 →7ページを参照して、リセット操作をしてください。
食材がはね上がり、カッターが空回りする。	● 軽い食材を少量セットしている。 →スイッチを断続的に操作して、オン・オフを繰り返すようにすると均一に仕上がります。
仕上がりの粉末の大きさにばらつきがある。	● 食材がカッターに均一に当たっていない。 →食材や食材の量によって均一になりにくい場合があります。そのときはスイッチを押しながら軽く傾けながら振ると均一に仕上がります。

品名	コーヒーミル
本体寸法	(幅) 100×(高さ) 206×(奥行き) 100 (mm)
質量(本体のみ)	930 g
定格電圧/周波数	100 V 50/60 Hz
定格消費電力	130 W
カップ容積(有効容量)	クリアカップ(大): 320 ml、クリアカップ(小): 200 ml
定格時間	連続使用1分30秒以下
電源コード長	1.4 m
付属品	クリアカップ(小) ×1 クリアカップ用密閉キャップ×1

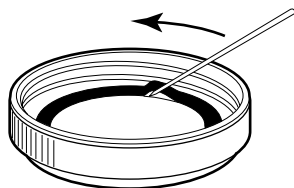
本機の仕様は改善のため、予告無く変更することがあります。

下記の交換部品、消耗品を用意しております。お求めはデバイススタイル カスタマー サポート センターに直接ご連絡ください。

部品名	部品番号	備 考
クリアカップ(大)	GCM56-CCL	
クリアカップ(小)	GCM56-CCS	
クリアカップ用密閉キャップ	GCM56-CCA	
ステンレスメッシュカップ	GCM56-SMC	破損した場合はすぐに交換してください。けがをする危険があります。
パッキン	GCM56-PA	カッターベース用、密閉キャップ用 同一部品

パッキンの外しかた

パッキンの内側の隙間に楊枝の先を入れて、パッキンを浮き上がらせます。そのまま回すようにしてパッキン全体を浮き上がらせていきます。



- カッターベースのパッキンを外すときはカッターでけがをしないように注意して外してください。
- パッキンを取り付けるときは、浮きの無いように指先などで確認をして、しっかりと取り付けてください。

保証とアフターサービス

保証書について

- 保証書はこの取扱説明書についておりますので、必ず「販売店、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はご購入上げ日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

- この商品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
保証の規定に従って修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご連絡先は
デバイススタイル カスタマー サポートセンターにご連絡ください。

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

e-mail: customer.support@devicestyle.co.jp

URL : <http://www.devicestyle.co.jp>

修理品の送付先

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

修理品のお問い合わせ電話: 048-664-3477

営業時間: 平日午前9時～午後6時（土日、祝日及び長期休暇を除きます。）

株式会社
デバイススタイル ホールディングス
〒107-0062 東京都港区南青山 5-9-6



サービス受付・修理品の送付先
デバイススタイル
カスタマー サポートセンター
電話：048-664-3477
〒331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

部品番号：GCM56-IB